

全仁会ニュース

全仁会グループ 倉敷平成病院 広報誌

2013
薫風号
No.72

限りない QUALITY OF LIFE を求めて

社会医療法人全仁会 倉敷市老松町4丁目3-38 倉敷平成病院内 全仁会ニュース編集部 発行責任者/高尾 武男



表紙：「こいのぼり」通所リハビリテーション第6フロアご利用の皆さまの作品

名誉理事長挨拶	2
理事長挨拶	3
院長挨拶	3
新任医師紹介	4
認知症疾患医療センター長挨拶	4

複合型介護施設 ピースガーデン倉敷・
サービス付高齢者向け住宅 グランドガーデン南町〈5〉
介護のポイント〈6〉
ヘルシーレシピ〈7〉
薬剤部だより〈7〉



平成25年の
のぞみの会は

11月17日(日)

倉敷平成病院
リハビリセンター
にて



社会医療法人 全仁会

倉敷平成病院

ご自由にお持ち帰りください



名誉理事長

高尾 武男

新緑の季節を迎えました。皆さまお元気にお過ごしでしょうか。

さて私儀

このたび4月1日をもって社会医療法人全仁会倉敷平成病院 理事長の職を辞し、名誉理事長に就任いたしました。

倉敷平成病院は脳神経疾患専門病院として開院以来、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という理念の下、職員一丸となり、患者さん本位の医療や地域社会への貢献を目指してきました。

倉敷平成病院は今年1月に創設満25年を迎え、26年目に入りました。

思い起こすとただただ精一杯走り続けてきたこともあり、あっという間に過ぎた月日だったように思います。この間、のぞみの会を始め患者さんご家族の皆さん、地域の方々、連携いただいている医療機関並びに介護施設の関係者など、多くの方々からのあたたかいご支援を賜り、励むことが出来ましたことを心から御礼申し上げます。

また全仁会ではこれまで基幹機能である病院運営に加え、倉敷老健を皮切りに倉敷在宅総合ケアセンター、ドリームガーデン倉敷、ローズガーデン倉敷からピースガーデン倉敷と一貫した継続医療を提供し、在宅支援機能を拡充してまいりました。さらに今秋には新たにサービス付き高齢者向け住宅（グランドガーデン南町）の開設を予定しています。今後も当院の原点ともいえる理念を改めて見つめなおすとともに、さらなる発展を目指したいと考えております。

なお後任として高尾聡一郎が新しく理事長に就任いたしました。新体制では理事長以下全役職員の活動を背後から応援し、社会福祉法人では理事長として引き続き全仁会運営に携わっていく所存です。

今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



理事長

高尾 聡一郎

新年度が始まり、皆さん新たな気持ちで1年のスタートを切られたことと思います。4月1日付けで高尾武男名誉理事長の後を受け新しく理事長に就任いたしました。総職員数870名の大きな組織のリーダーとしての重責を感じながら、しっかりと自分の役割を果たしていきたいと思っています。平成25年度は全仁会にとって創立25周年の年となります。この節目の年に理事長を務めるに当たり、心がけていることがあります。それは『救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します』という当院の理念を更に浸透させ、全員で推進していく事が理事長としての使命であるということです。理事長交代に当たり、組織が変わることなく今までと同じ方向に力強く進んでいくために、この事を忘れず一体感をもった組織となれるよう全力を尽くしてまいります。そして職員の皆さんには全仁会のことをもっと好きになってもらいたいと思います。自らの組織を好きになることで、組織を誇

りに思い、その結果、患者さんにも必ず全仁会の良さを理解してもらい、好きになってもらえるかと確信しております。本年、新たに放射線科が常勤医師の着任により増設されました。従来からある神経内科、脳神経外科、整形外科などの主力診療科に加え、皮膚科、眼科、総合診療科などが最近も新設され、総合病院としての実力が徐々に高まっています。全診療科が協力しあって患者さん本位の医療をますます推進していきたいと思っています。近年、患者さんと我々医療人の距離がややもすれば遠くに感じがちな時代となっています。これは医療だけに関わらず、社会全体にそのような風潮もあるのかもしれませんが。そんな中でも我々倉敷平成病院は地域としっかりと『つながり』を持ち、『思いやり』・『やさしさ』のある信頼できる病院に更になっていけるよう、患者様と共に歩んでいきたいと思っています。本年度もどうぞよろしく願いいたします。



院長

平川 訓己

全仁会は創立25周年を迎えました。今年の新年会は25周年祝賀会として盛大に祝うことができました。ここまで育てていただいた地域の皆様、温かく見守ってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」のビジョンを頑なに追求し、職員一同一丸となって努力を惜しまず患者本位の医療を実践してきた事が地域社会の皆様方に支持され、ご理解を賜ることが出来たと思っております。25年かけて倉敷平成病院を中心に、倉敷老健、ケアハウス、住宅型有料老人ホーム、倉敷在宅総合ケアセンター、そして今年オープン

した複合型介護施設、現在建築中のサービス付き高齢者向け住宅等々、自己完結型の組織が出来上がりました。ビジョンに掲げた通りの、救急から在宅まで形は整い、それなりの実績もついてくる様にはなっておりました。26年目、新たなステージで原点に戻り、今まで築いてきた財産を基盤に更に努力を重ね発展、充実させる様に職員一同、新たな向上心を持って頑張っております。地域のお役に立てるよう、患者さん・利用者さん本位の医療・介護に徹してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

よろしくおねがいします!

新任医師紹介



放射線科
つかもと かずみち
塚本 和充 医師

初めまして。4月より赴任して参りました放射線科の塚本です。出身は大阪で、出身大学は鳥取大学です。大阪を離れて後は、山陰地区での生活が

長く、山陽地区での生活は初めてです。岡山倉敷は晴れの国だと伺っております。雨の多い山陰地区とは正反対の為、体が順応するのにしばらくかかりそうですが、晴れの国を満喫したいと思います。

仕事に関してですが、専門は放射線診断を行っています。CT、MRIを主体とした画像診断が中心になると思われませんが、機会があればIVR(血管造影検査)も行っていければと考えております。まだまだ経験も浅く、出来ることも限られておりますが、少しでもお役に立てればと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

出身●大阪府 趣味・特技●ゴルフ



神経内科
たかみや もとのり
高宮 資宜 医師

讃岐の生まれですが、うどんを食べるのは月に1回程度の高宮資宜(もとのり)です。倉敷平成病院

には一昨年に1年間赴任しましたが、岡山大学神経内科医局の人事異動により、この4月から再び赴任させて頂くことになりましたので、どうぞ宜しくお願いします。1年ぶりに患者さんや職員さん達と再会して懐かしく思うと共に、慣れ親しんだ職場の雰囲気心が癒されておりますが、慢心せぬよう新入職員同様に緊張感を持って仕事に励んでまいりたいと思いますので、引き続きどうぞお手柔らかにお願い申し上げます。

出身●香川県
趣味・特技●音楽鑑賞、旅行、自然散策



認知症疾患医療センター

センター長就任のご挨拶

認知症疾患医療センター長 涌谷陽介

平成25年4月1日付けで高尾芳樹認知症疾患医療センター長の後を受け新しく同センター長を拝命致しました。当院の認知症疾患医療センターが稼働して一年強が経過いたしました。昨今の急激な高齢化に伴い認知症を持つ方は増加の一途をたどっているため、相談件数・受診件数も以前よりさらに増加しています。認知症の早期発見のみならず、身体疾患やいわゆるBPSD (behavioral and psychological symptoms of dementia) の相談・受診も増加しています。

最近では、認知症の方を初期から終末期まで医療と介護が地域や行政と協力しながらシームレスにサポートしていく、という「ステージアプローチ」という考え方が主流となりつつあります。これは全仁会の理念である「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」に全く合致する考え方です。

認知症の方やご家族に生じるいろいろな医療・介護ニーズに対応して行くには、全仁会内での認知症への理解・連携の進化・深化が必要です。また、認知症があることが「リスク」であるという旧来の呪縛からいかに我々が解き放たれ、認知症という病とともに歩む方に、どのように適切かつ安心につながる医療・介護を提供していくかを自問し、研鑽し続けるべきです。

高尾武男名誉理事長が、10年以上前から取り組んでこられたもの忘れ外来や認知症医療・ケアシステムをさらに発展させ、地域の皆様、かかりつけ医の先生方、そして全仁会グループスタッフの皆様のお役にたてるよう私自身邁進したいと存じます。

認知症の方の病状やご家族の介護や対応の大変さなど、いろいろ考えなければならないことは多いのですが、私はきっと認知症の方々のことが、ともかくも好きになってしまうのだと思います。笑顔を絶やさない外来にしたいと思います。

ピースガーデン倉敷は、地域密着型特養・ショートステイ・グループホーム・デイサービスからなる複合型介護施設として今年2月に開設しました。

ご利用される方、お一人おひとりに寄り添うケアを実践し、心穏やかな環境を創造してまいります。

全仁会グループの一員として、また、地域の皆様の福祉のパートナーとしてお役にたつサービスを提供いたします。

4階 グループホーム のぞみ



認知症により自立した生活が困難になられた方に対して、安心と尊厳のある生活を支援する施設です。認知症ケアでは、培ってきた経験を基に、充実したサービスを提供する体制が組まれています。

屋上庭園の心とむ景観をお楽しみいただきながら、ゆったりしたお部屋で快適な生活をお過ごしいただけます。

〒710-0824
倉敷市白楽町40
TEL.086-423-2000

3階 ピースガーデン倉敷 ショートステイ

短期間、日常生活上の援助を行う施設です。その人らしい生活をご家族に代わって提供いたします。介護をしているご家族が、一時的に介護ができなくなった時や、休養を取りたい時にご利用いただけます。



2階 地域密着型特養 ピースガーデン

当特養は、9～10名を1つのグループとしたユニット型特養で、ユニットごとにご自宅に近い環境の中で、サービスを提供いたします。

お一人おひとりに寄り添うケアを提供しながら笑顔あふれる生活の場の創造につとめます。



1階 デイサービス ゆかいな広場



広く明るいフロアで、季節感あふれる行事会やレクリエーションと共に、ご利用の皆さんの状況にあわせた創作活動や認知症予防・機能訓練等のプログラムを組み合わせ、専門性を活かしたサービスを提供いたします。

ご利用の皆さんに、楽しく生き生きとした時間を過ごしていただくサポートを行います。



サービス付き高齢者向け住宅 グランドガーデン南町について

今年12月
オープン予定!



「サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）」は、一昨年始まった新制度下の高齢者向け住宅です。サ高住の基準として、一定のハード面と安否確認・生活相談サービスの提供等があります。

グランドガーデン南町は、ローズガーデン倉敷と同じ敷地に建設中です。お元気な方だけでなく、要介護状態の方も介護保険を利用したサービスと、サ高住の見守りサービスを組み合わせて、終の棲家として暮らして頂けるサ高住を目指しています。

全仁会グループの医療・介護サービスの密な連携の下、安心な日々の実現を願っています。

開設準備室

ホーム いくわよ
☎ 0120-46-1984

●妄想とは

- 全くの想像を堅く信じてしまうこと。(辞書より)
- 必ずしも病的な意味合いを含むわけではなく、日常的な会話でも用いられることもある。
- 認知症の方に現れる場合、

- ・ 病的状態から生じた判断の誤り
- ・ 実際にはあり得ない不合理な内容
- ・ 説明しても訂正不能な主観的確信を持って信じている
- ・ 何度も繰り返し現れることがある

➡ “心の逃げ場”

●事例紹介

元茶道講師
Aさん



財布がないんだけど。
あなたまた盗ったでしょう！
私のことが憎くて、だまって私のお金を
使っていること知っているんですよ。
昨日の夜、私の部屋に入って
タンスをあさっていたじゃない！

この言動の背景は？

Aさんの世界の中で想像すると…

私は盗ったりなどしませんよ。
いつも一生懸命お世話させて
もらっているのに…犯人扱いするなんて。
最近では、財布以外にも
あることないこと私のせいにして。
どうしてですか…。

介護者



- できないことや分からないが増えている。
- 介護への後ろめたさや抵抗を感じている。

➡ そうだとすると

- 自分自身を守ろうしている
- 気持ちに折り合いをつけている
- 何とかしようと必死!!

●対応のポイントは？

- 1 Aさんの思いを受け入れること
否定や説得は納得を得られず逆効果。
- 2 安心感の提供
生活の中に、生活歴を踏まえた役割や居場所があることで、心理的負担が軽減し妄想が減ることがある。
例) 茶道の指導、お茶会開催
- 3 財布の管理や無くなった時の対策を立てること
【対策1】 あらかじめ大切な物をしまう場所を把握し、Aさんより先に見つけた時も、Aさんが見つけられるように仕向ける。
【対策2】 同じ財布を複数購入しておく。
【対策3】 Aさんが不安にならないよう小銭のみ財布に入れ、その他は介護者が管理する。
【対策4】 犯人扱いされた介護者以外の方が対応する。

これらの対応を行うことで症状が落ち着く方もおられます。

●次回のお話 「攻撃的行動」



やわらかく、クセのない「キャベツ」

もともと冬に食べられていたキャベツですが、最近では柔らかい春キャベツも人気。同じキャベツでも食感が違い、季節を楽しむことができますね。

キャベツにはビタミンCや食物繊維、そしてキャベジンが含まれています。キャベジンとはビタミンUとも言い、胃腸の粘膜を保護、修復するはたらきがあるので胃腸薬の成分としても使用されています。

キャベツクラッカー

1人前/250kcal、塩分0.8g

■作り方

- ①キャベツはみじん切りにして電子レンジで3分加熱し、冷ましておく。
- ②ボウルに☆を入れ、バターをちぎりながら入れてすり合わせ、サラサラにする。
- ③①とマヨネーズを入れて混ぜ、ひとまとめにして大きめのビニール袋に入れ、平らに伸ばして冷蔵庫で30分置く。
- ④ビニールの上からめん棒などで5mm厚さに伸ばし、袋を開いてフォークで空気穴を開ける。
- ⑤5cm角に切り目を入れて、180度のオーブンで20~25分焼く。
- ⑥冷めたら切り目を折って切り離す。

■材料 5人分

- 小麦粉 …………… 150g
- ベーキングパウダー …………… 小さじ1/2 ☆
- 砂糖 …………… 30g
- 塩 …………… 小さじ1/4
- キャベツ …………… 100g
- バター …………… 60g
- マヨネーズ …………… 大さじ1



お薬が余ったら??

倉敷平成病院 薬剤部

皆さん、処方されたお薬が自宅で余っていませんか？

先日、夜間に救急搬送された患者さんの現在服用されているお薬を、お薬手帳で確認しました。保険証と一緒にお薬手帳も持っていたため、お薬が確認しやすく助かるなあと思いきや中身を確認すると、お薬手帳には最近の処方薬の記録がきちんと残されていました。しかし、次の日家族の方が自宅から持って来られたお薬は…手帳に記載されている薬のうち2種類足りない…。自宅に忘れてきたのかと思い家族の方に聞くと、「効かないし、いらぬから1年前からずっと薬局でもらった後、自宅で捨てていた」と。

毎月の受診の後に捨てていた!?

かかりつけ医師にはせっかく薬を出してもらっていて悪いからと言わずに捨てていたそうで…、1年分の捨てていた薬代を計算してみると…15万7千円!! うわあ…2泊3日の豪華旅行ができる…。

生活習慣病の患者さんでは、飲み残し、飲み忘れの繰り返しは心筋梗塞や脳卒中等を引き越す危険性が高くなります。心筋梗塞や脳卒中等を引き起こすと、生命がおびやかされるだけでなく、後遺症が残る可能性もあります。

そして、お薬を余らせることは、医療費や患者さんのお薬代の無駄遣いにつながります。在宅患者訪問薬剤管理指導等を受けておらず、お薬の服用を自己管理されている後期高齢者の患者さんが飲み忘れるお薬の薬剤費は、年間約500億円にもものぼると推計されています。また、余っているお薬の数を医師や薬剤師に伝えて、適切なお薬の数を処方してもらえば、患者さんのお薬代の負担も少なくなる可能性があります。

お薬を余らせないために、次のように薬の変更をすることもできます。お薬や病状によっては変更できないこともあります。

- ① 飲み忘れしにくい時間帯に服用できるお薬にする。
- ② 飲む回数が少ない薬にする。
- ③ 2種類のお薬が1剤にまとまった配合剤にする。
- ④ 1回に飲むお薬を1包にまとめる(1包化)。
- ⑤ 外出先などで水がなくても飲める薬にする。

医師や薬剤師と相談することにより、お薬を余らせることなく、正しく服用できるようになります。余ったお薬がある場合は、診察の際に遠慮せずに医師や薬剤師に相談してみてください。でも、毎日忘れずにお薬を飲んでもらうのが一番良いですよ。

